

【令和8年度】

## 活動基本方針

一般社団法人全国国立大学附属学校P T A連合会

一般社団法人全国国立大学附属学校P T A連合会（以下「全附P連」）は、子どもたちとこの国の未来のために、国立大学附属学校（以下「附属学校」）並びに附属学校単位P T A（以下「単位P T A」）の活動を支援し、日本の公教育、社会教育、家庭教育の充実と相互交流を図り、地域の未来を支える教育全般の発展に寄与することを目的とし、P T A活動の実践と研鑽を推進する。

また、附属学校が有する先導的・実践的な教育研究や地域に対する教育還元、その公益的役割について理解を深め、全国国立大学附属学校連盟（以下「全附連盟」）をはじめとする諸団体と連携しつつ、附属学校の意義や使命、実践の成果を広く社会へ発信し、社会的理解と支援の拡充に努める。

### 1. 附属学校の公益性・公共性を高める活動支援

附属学校では、第4期中期目標・中期計画における終了時の評価、及び第5期中期目標・中期計画に向け、国の教育指針や社会的要請を踏まえた達成水準を高める教育実践や学校運営が進められている。全附P連は、地域における教育研究・教員養成・地域貢献の拠点として、先導的役割を果たす附属学校並びに単位P T A活動を支援するとともに、全国規模のネットワークを生かした情報共有や相互連携を推進し、附属学校の公益性的役割と社会的価値の向上を図る。

### 2. 子どもに関する社会課題への対応

附属学校における、いじめ防止、不登校支援、防犯・防災、財政・金融経済理解、インクルーシブ教育、SDG s等に関わるP T A活動を支援し推進する。特に、子どもの安心安全な学習環境の確保に向け、防犯・防災に関する取り組みを重視するとともに、国の教育改革を先導する附属学校P T Aとして、学校現場の働き方改革への理解と協力を深め、教員という職業の魅力度向上に寄与する。また、少子化や地域社会の構造変化を踏まえ、地域社会における附属学校の役割や保護者の関わり方について議論を深め共有し、その成果を広く発信する。

### 3. 諸団体との連携強化

地区会との連携を強化し、附属学校を取り巻く社会情勢や地域課題に関する情報共有を推進する。また、全附連盟との協働を深めるとともに、全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会等との連携を通じ、附属学校の将来像や課題について協議を進める。さらに、国立大学附属学校振興議員連盟を対象とした勉強会等を継続的に実施し、附属学校における先導的教育実践や地域貢献活動への理解促進を図り、その成果や課題が国の教育施策や予算へ適切に反映されるよう努める。

### 4. 附属学校の改革を支援

附属学校における先導的で実践的な教育活動やP T A活動について積極的に情報発信を行う。また、附属学校に対する社会的理解の促進を図るため、マスメディアへ情報提供を行い、時代の要請に応じた戦略的広報活動を展開する。さらに、各分野で専門的知見を有する識者等による附属学校の評価を通じて、その存在意義や成果の還元状況、公私立学校にはない付加価値、全国に発信し得る特色等を客観的エビデンスに基づいて明確化し、その価値と役割を広く社会に発信し附属学校の改革を支援する。

### 5. 未来への提唱

教育基本法の理念の実現に向け、現代社会におけるP T A活動や保護者の学校教育への関わり方について、その意義や在り方を見つめ直し、多様な価値観を認め合う社会の中で、子どもたちの命と学びを支える活動を推進する。全附P連は、全国の附属学校P T Aの知見と実践を結集し、教育を基盤とした地域づくりと公教育の発展に寄与するとともに、子どもたちとこの国の未来のために、時代を映すP T A活動を模索し、実践し、社会へ向け提唱する。